

## 鶴岡市文化会館整備に伴う周辺景観との調和に対する意見募集結果について

1. 意見の募集期間 平成25年1月28日（月）～2月8日（金）
2. 意見の提出方法 応募用紙に記入の上、郵送、ファックス、電子メールのいずれかで提出
3. 意見等の提出状況 応募者数 7名、意見等の概要は以下のとおり
4. 意見等の概要
  - ・現在の産業会館、青年センターの東側は、都市計画道路となっているが、その計画は。
  - ・南東の風は、旧致道館にどのような影響があるのか。
  - ・積雪は、どのように処理する考えか。
  - ・31mと聞いたとき、高さに対する違和感、圧迫感を想像した。
  - ・複雑な屋根の形に驚いたが、外観図やCGで、違和感も圧迫感も感じなかった。
  - ・「複雑な屋根の形」をデザイン力と捉えれば建物自体が「観光文化素材」になるのでは。
  - ・「雪対策」がクリアできるのであれば、インパクトのある「観光都市の顔」になると思う。
  - ・馬場町泉町線と鶴岡羽黒線からの眺望は良好であり問題ない。
  - ・見えない月山の姿を新文化会館の屋根がイメージさせ、なかなか良い演出効果がある。
  - ・既存のバラバラな形、高さに対して、まとまっていて都市景観にも良い効果を与えている。
  - ・デザインや景観との調和も大切ですが、もう少しコンパクトにしても良い。
  - ・新施設利用の際の駐車スペースなどを考慮してください。
  - ・外観よりも、施設内の利便性と環境に配慮した省エネ型のものにしてください。
  - ・「普通の箱形のホールでいい」
  - ・建物最高高さ31mということで景観をそこなうばかりか圧迫感がある。
  - ・屋根に雪が積り落ちる、強風にたえられるか、ビル風が吹かないかなどの疑問がある。
  - ・この屋根は城下町鶴岡にはふさわしくない。旧致道館との調和がはかられない。
  - ・計画の15mを超える部分については、市民に開放的なものにし、常時景観をながめることのできる空間にするとか。
  - ・近隣の商店街や内川との景観に対しても、威圧感のあるデザインでなく、まわりと溶けこみ、商店街を発展させるようなものもいい。
  - ・旧致道館の歴史的なデザインをモチーフにしたものにする。空と溶けこむような外観にするなど、既存の空間を尊重したものにするとういのは。
  - ・内川をながめながら、商店街、文化会館、アートフォーラム、市民プールまで抜けられる回廊があれば人の流れ、駐車場問題も解決できると思う。
5. 意見等の報告

平成25年2月19日（火）開催の鶴岡市景観審議会に意見等を報告し、これらも参考に  
して、協議していただきました。（協議内容については、都市計画課のページをご覧ください。）